

## 令和4年度事業報告書

社会福祉法人延命福祉会は、令和4年度において以下の事業並びに活動をいたしましたので報告します。

## 記

決議年月日	業務件名	業務内容
令和4年4月1日	「ほのぼのシステム・サーバー更新」リース契約開始	山梨中銀リース:リース総額「ほのぼののシステム4,930,200円サーバー更新1,597,200円リース期間60ヶ月」
令和4年4月11日	(独)福祉医療機構設備資金元金返済並びに前期借入利息支払	元金2,450万円前期利息735,000円借入金残高73,500,000円
令和4年5月18日	屋外広告物等表示(設置)許可	施設案内板設置許可期間の更新許可(令和6年7月17日迄)
令和4年5月23日	(独)福祉医療機構退職共済掛け金納付	対象職員9名分掛金(400,500円)振込
令和4年5月23日	6月6日開催の令和4年度第1回理事会の案内送付	
令和4年5月23日	令和3年度決算監事監査の実施、	緑風苑理事長室において古屋俊仁、中村猛監事による監査の実施
令和4年6月6日	社会福祉法人延命福祉会令和4年度第1回理事会の開催	理事定数6名中5名の同意書監事1名顧問1名出席
令和4年6月7日	社会福祉法人延命福祉会令和4年度第1回評議員会(定期評議員会)の開催通知及び開催資料送付	評議員8名全員へ郵送

令和4年6月13日	身寄りのない利用者1名施設内でご逝去、死亡届等手続き、火葬、永代供養を実施した。	古屋法律会計事務所へ相談
令和4年6月14日	夜勤職員健康診断の実施	緑風苑19名、緑ビ風9名受診
令和4年6月15日	緑風苑、緑ビ風職員夏季賞与支給 夏季賞与として基本給の正規職員1.2ヶ月分(施設長、副施設長、事務長除く50名)13,012,400円支給	
令和4年6月17日	評議員議員鶴田清彦氏葬儀	
令和4年6月21日	社会福祉法人延命福祉会令和4年度第1回評議員会(定時評議員会)の開催	定数8名中7名の出席、田邊理事長議案説明のため出席
令和4年6月22日	令和3年度決算による資産総額の登記	令和4年3月31日現在資産総額3億6113万3722円登記
令和4年6月27日	建物等店舗総合保険更新保険料支払	三井住友海上火災保険㈱と契約金額272,140円で更新
令和4年7月6日	山梨県福祉保健部健康長寿推進課介護基盤整備担当へ令和4年度餅設ショートステイ特養転換申請書提出	峡東保健福祉事務所及び甲州市介護支援課へ提出
令和4年7月25日	一般・特定待遇改善加算実績報告書の提出	
令和4年7月27日	全国老人福祉施設協議会令和4年度会費納付	年会費98,100円
令和4年8月2日	山梨県福祉保健部長寿社会課介護基盤整備担当へ特別養護老人ホーム指導台帳を郵送にて提出	
令和4年8月13日	緑ビ風利用者2名の新型コロナ陽性が判明、最終的には利用者6名職員2名のクラスター発生となる。	
令和4年8月18日	介護職員等ベースアップ等支援加算処遇改善計画書の提出	峡東保健福祉事務所及び甲州市介護支援課へ提出
令和4年8月19日	緑風苑職員1名の施設内の抗原定性検査により新型コロナ陽性が判明、最終的にには利用者25名、職員13名のクラスター発生となる。	

令和4年8月26日	ホンダライフ、トヨタシエンタ、レジアス自動車保険更新保険料支払	合計保険料186,400円支払
令和4年9月6日	令和4年度第1期労働保険料支払	第1期分1,317,157円支払
令和4年9月8日	法人隣地田邊家工場の元却し、田邊真知子氏、リオ・不動産コンサル株式会社、法人立会人鷹野忠彦理事の立会いの下、土地家屋調査士望月厚氏の測量にて隣地確認を行ふ。	田邊真知子理事長が利益相反の立場となるため、鷹野忠彦理事を隣地確認の委任者とする。
令和4年9月9日	山梨県福祉保健部福祉保健総務課より令和4年度民間社会福祉施設等整備資金利子補給金の概算払い交付	概算払い金として1,286,250円受領
令和4年9月13日	高齢者施設等工アロゾリ感染対策強化事業費補助制度を利用して 緑風苑、緑と風各ユニットに空気清浄機を発注する。	ワタキユーセイモア(株)山梨営業所へ。補助率100%(見積書添付)
令和4年9月18日	令和4年度第2回理事会決議事項のみなし決議の書類送付	
令和4年6月、7月	介護職員腰痛健診	腰痛検診対象者51名中、個別診断者7名、レントゲン検査者1名
令和4年9月26日	令和4年度第2回理事会の決議があつたとみなされた日	
令和4年10月11日	独立行政法人医療機構からの社会福祉施設等整備資金の後期借入利息の支払	借入利息551,250円払
令和4年10月18日 知	令和4年度山梨県併設ショートステイ特養転換候補者の選定結果通知	併設ショートステイ10床を特養へ転換する事業者としての選定を受ける。
令和4年10月19日、 11月2日	職員インフルエンザ予防接種の実施	二日間合計で63名接種
令和4年11月11日、 18日、25日	入居者インフルエンザ予防接種	三日間合計で緑風苑53名、緑と風25名が接種
令和4年11月14日	山梨県へ「省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金交付申請書」の提出	補助金6,000,000円
令和4年11月15日	山梨労働局へ労働保険料第2期納付	山梨労働局へ労働保険料第2期分1,342,786円納付

令和4年11月28日	山梨県退職共済掛け金第2期分納付(緑風苑・緑と風)	山梨県社会福祉協議会へ掛け金緑風苑196,740円緑と風113,520円納付
令和4年11月30日	令和4年度山梨県社会福祉施設等工アロゾル感染対策強化事業補助金の受領(抗菌HEPAフィルター1付空気清浄機設置)	補助金額1,740,000円
令和4年12月1日 定	特別養護老人ホームの入所定員60名から70名への増加の認可決定	
令和4年12月2日、9日	新型コロナウイルス予防接種	二日間合計で緑風苑(入居者51名、職員24名)、緑と風(入居者22名、職員10名)
令和4年12月6日	職員定期健康診断	山梨厚生病院により定期健診診断当日他法人全体受診者数62名、4名他の病院の診断書提出
令和4年12月10日	職員ストレスチェック検査表の回収提出	山梨厚生病院による同検査表62名の提出
令和4年12月15日	職員冬季賞与支給	冬季賞与として基本給の正規職員1・8ヶ月分総額風苑35名14,115,096円、緑と風16名6,766,488円を支給
令和4年12月20日	入居者定期健康診断	山梨厚生病院により定期健診緑風苑41名、緑と風19名実施
令和5年1月5日	(株)エコワーカスと「省エネ・再エネ設備導入加速化事業工事請負契約」を締結	工事請負契約金額13,365,000円
令和5年1月17日	山梨県へ介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業補助金交付申請書兼実績報告書の提出	申請補助金額8,430,000円
令和5年1月26日	山梨県退職共済掛け金第3期分納付(緑風苑・緑と風)	山梨県社会福祉協議会へ掛け金緑風苑384,580円緑と風227,040円納付
令和5年1月30日	(株)エコワーカスへ「省エネ・再エネ設備導入加速化事業工事請負金額」の支払のための借入資金の借入	10年返済期間の証書借入金7,000,000円、6月末日支払期日の手形貸付6,000,000円
令和5年1月30日	(株)エコワーカスへ「省エネ・再エネ設備導入加速化事業工事請負金額」を振込	工事請負金額13,365,000円
令和5年2月3日	甲府労働基準監督署へ定期健康診断他の届け出	昨年12月実施の定期健診診断、ストレスチェック診断の報告書の提出
令和5年2月6日	山梨県へ省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金実績報告書の提出	

令和5年2月14日	労働保険第3期分納付	山梨労働局へ労働保険第3期分1, 343, 786円 納付
令和5年3月7日	山梨県省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金の確定通知	交付補助金確定金額6, 000, 000円
令和5年3月10日	令和4年度第4回理事会開催案内の通知郵送	3月28日開催予定の理事会の開催通知
令和5年3月10日	甲府労働基準監督署へ令和5年度36協定届、変更就業規則等郵送	令和5年度一般及び特定時間外労働・休日労働に関する協定届、変更賃金規程等
令和5年3月14日	令和5年度しせつの損害補償保険契約更新及び掛け金振込	(福)全国社会福祉協議会の「しせつ振り損金償」 の令和5年度契約更新並びに掛け金振込587,080 円)
令和5年3月20日	山梨県省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金入金	山梨県福祉保健部健康長寿推進課介護基盤整備 担当より6, 000, 000円
令和5年3月22日	山梨中央銀行塩山支店手形借入資金返済	手形借入資金6, 000, 000円返済
令和5年3月27日	山梨県退職共済掛け金第4期分納付(緑風苑・緑ヒ風)	山梨県社会福祉協議会へ掛け金緑風苑366, 78 0円緑と風227, 040円納付
令和4年11月～令和5年1月	職員腰痛検診の実施	加田グリーンツク加田院長により介護職員緑風苑34 名(2名)、緑ヒ風18名(1名)が実施()内レントゲ ン
☆毎月以下の設備資金借入金を山梨中央銀行塩山支店へ返済している。		
・緑風苑	567, 000円	
・緑と風	1, 252, 000円	
	、58, 500円(令和5年1月より)	

# 令和4年度事業報告書

## (1) 特別養護老人ホーム 緑風苑

### 1. 総括

特別養護老人ホーム緑風苑の令和4年度の事業報告として、第一に挙げなければならないのは、昨年8月に施設内で新型コロナ感染のクラスターが発生したことです。8月19日に職員1名が鼻水、かぜ声等の症状があったため施設内にて抗原検査を実施した結果、陽性判定が確認されました。直ちに日下部保健所へ届出し、翌20日その職員の勤務するユニット利用者及び濃厚接触職員のPCR検査を実施したところ翌21日に2名の利用者が陽性判定され、その後利用者及び職員に感染が拡大し、第1期感染者は9月11日に同保健所より終息宣言を受けるまで、利用者25名及び職員13名という大量の感染者を出す結果となりました。また、第2期感染は、9月16日に同居するご家族の新型コロナ感染により感染した職員からの感染と思われる利用者3名及び他の1名の職員のクラスター感染が発生しました。第1期の感染の経験を活かした看護職員を中心とする感染予防対策が功を奏して、第2期感染は小規模の感染で納めることができました。この経験を活かすために「新形コロナウィルス感染症業務継続計画書」を作成し、今回のような感染が発生した場合においても最小限の感染状況で抑えることができるよう対応マニュアルを作成し、このマニュアルに沿った対応策が実施できるよう訓練を通して確立して行きたいと思っております。このクラスターの発生は、2か月弱の感染期間におけるショーステイの自粛期間、その後のショートステイ利用者の利用控え及び特養入居者の入居停滞等により大幅な介護報酬の減収という結果となって現れました。事業活動増減差額は17,828,297円の黒字となっておりましたが、設備資金借入金の元金31,304,000円等を返済したことにより当期資金収支差額合計は3,073,140円の最終的な赤字計上となっております。しかし、新形コロナ感染利用者を全て施設内療養にて対応したことにより、785万円の「令和4年度新型コロナウィルス感染症流行下における介護サービス事業者等のサービス提供体制確保事業補助金」を年度内に受領できる予定であったものが新年度に持ち越しとなってしまったことも赤字の要因となっております。

一方、利用者の入院延べ人数は、昨年度の431人日から今年度の226人日へとほぼ半減しております、死亡退所者数も、昨年度22人、今年度20人とほぼ横並びの状況となっています。しかし、この数字以上に施設内での医療依存度は高くなっています、1日の点滴の処置人数が7名となる日もあり、看護職員、介護職員の手厚い介護により支えられた1年でありました。

次に、令和3年度から実施されている「山梨県併設ショートステイ特養転換事業」により令和4年度において特別養護老人ホーム緑風苑が転換候補者として令和4年10月18日付で選定され、同12月1日より、特養定員が60名から70名へと増員となっております。

ここ数年厳しい状況が続いている介護職員の雇用状況が、インセンティブを持たせた「職

員紹介制度」により令和4年度5名の職員が職員の紹介により入職し、少し明るい兆しが見え始めるように思えます。今後も新たな求人システム、労働条件の改善に努め、「求職し易く退職の少ない」事業所を目指したいと考えています。

最後に、令和4年度の消費者物価指数は前年比3.0%の上昇との報道もあり、特に電気料金及びガス料金の上昇は、緑風苑では前年比40%を超える上昇となっており、今後も上昇する可能性は高くなると懸念しております。介護事業は、制度内事業であることにより事業者の判断により物価高騰分を価格に転嫁することはできません。国による介護報酬の改定等による物価高騰に対する支援策を期待することしかできません。しかし、令和4年度において「省エネ・再エネ設備導入加速化事業費補助金」を活用して緑と風の屋上に設置した太陽光発電設備のように助成金を活用した省エネ対策・介護IT化対策、経営の合理化等により、この厳しい経済環境を乗り越えていくことも必要と考えております。令和4年度という厳しい1年を乗り越えた経験を活かして職員一同努力してまいります。

## 2. 年間入所(利用)実態

別紙のとおり

## 3. 職種別職員数 (令和5年4月1日現在 () 内の数字は前年職員数)

		職員数			
職務基準	区分	延べ人数	常勤換算人数	採用者数	退職者数
施設長	常勤	1(1)	1(1)		
事務長	常勤	1(1)	1(1)		
事務員	常勤	2(2)	2(2)	1(0)	1(0)
生活相談員	常勤	1(1)	1(1)		
介護支援専門員	常勤	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)
管理栄養士	常勤	1(1)	1(1)		
看護職員	常勤	2(3)	3.6(3.8)	1(0)	1(0)
	非常勤	2(1)			
介護職員	非常勤	31(27)	35.5(34.5)	9(2)	8(3)
	非常勤	4(2)		2(0)	0(1)
	派遣職員	1(1)		1(2)	1(3)
美化職員(洗濯・清掃)	常勤	1(1)	1(1)		
宿直専門職員	非常勤	1(1)	-	-	-
合 計	常勤	37(39)	46.3(49.1)	6(7)	7(11)
	非常勤	10(9)			
	派遣職員	1(1)			

## 4. 介護サービス

- 1) 新型コロナウィルスの感染が拡大し、厚生労働省の感染予防措置を参考にしながら感染予防に努め、ご家族との面会は、ユニットごと曜日を定めた予約制のガラス越しの面会又はタブレットによるリモート面会を継続実施している。ただし、死期の迫った利用者の面会は、2名を限度に30分の面会を実施している。
- 2) 特養入居者様の健康管理は、9月に定期健康診断を実施しその結果を配置医師とデータを共有することにより、利用者の健康管理に努めている。また、令和3年4月の新型コロナの第1回のワクチン接種から令和4年1月の第3回のワクチン接種まで実施し、令和3

年11月にインフルエンザの予防接種も実施し、感染症による施設内集団感染の予防に努めている。

- 3) 協力歯科病院であるナカムラ歯科医院の協力を得て、毎月口腔ケアの研修は新型コロナウィルスの流行により中止しているが、中村医師及び歯科衛生士が、利用者の口腔内のスクリーニングを実施し、それに基づいた口腔ケアの指導を実施している。
- 4) -1 感染症対応委員会は、毎月の会議の開催、及び年2回の研修を実施している。8月に発生した新型コロナウィルス感染症によるクラスターの発生により、看護職員を中心とした感染症ゾーニング管理、感染防護具の着脱指導、ユニット内の消毒、職員の出退勤の動線管理等を実施しました。
- 4) -2 ユニット内での感染症のクラスター発生を予防するため山梨県社会福祉施設等エアロゾル感染対策強化事業費補助金の交付を受け、1台「ダイキンエアクリーナー加湿器」7台「ダイキンエアクリーナー」を設置した。
- 5) 身体拘束適正化検討委員会では、新型コロナ禍のなかでも年2回の研修と毎月1回の会議は実施し、やむを得ず実施される身体拘束の事例は“0”であった。
- 6) 毎月開催する事故防止検討委員会において、事故原因の究明とその予防策を検討し、各ユニットの委員を通じて周知徹底している。また、委員会主催の研修会も、年2回の研修も実施されている。令和3年度は、骨折を伴う事故が年間6件発生しており、事故報告書の様式等を変更して、より本質的な事故原因の究明に力を入れている。
- 7) 令和3年度より「虐待防止委員会」を新たに創設して、施設内における利用者への虐待防止するために委員会活動を実施している。職員のモラルの向上を図る目的と不適切と思えるケアを早期に発見することにより虐待の発生を防止するために定期的に職員へのアンケート調査を実施している。
- 8) 花見外出、外食ツア、買い物ツア等ユニット単位で企画し、利用者の要望に合わせた外出の機会も、新型コロナ禍の影響を受け今年度も自粛している。しかし、ユニット内において、月の誕生日会に工夫したイベントを実施して利用者に楽しんで頂いている。
- 9) 昨年同様、ボアンティアの方々による絵画教室、音楽教室、茶道教室等毎月開催されるクラブ活動のほか、新たに傾聴ボランティア、朗読ボランティア、ダンス教室、又高校生、中学生による訪問等も新型コロナ禍の影響により、全ての活動は停止している。
- 10) 昨年同様昭和大学医療系学生の実習研修、帝京福祉専門学校の介護福祉士養成実習研修、山梨県教員養成研修等様々な将来ある学生の研修の場の提供は、新型コロナ禍の影響で全て断念せざるを得なかった。
- 11) 介護職員の不足を背景にして施設外の研修を活発に参加させることが難しく、制度として実施を義務付けられている研修は、職員の努力により工夫された研修が実施できている。

## 5. 給食サービス

毎月1回実施しているイベント食、9月の敬老会に提供される特別食等季節に合わせて毎月利用者が待ち遠しくなる献立により提供されている。また、利用者の健康状態に合わせて「キザミ食」「ミキサー食」「ソフト食」等食事形態の配慮とともに、食事介助時の介助の仕方も、それに合わせて適切に指導されている。

そして、職員に新型コロナの感染が判明した折には、当該ユニットへは、使い捨て食器により提供し、その食事の都度処分し2次感染の防止に努めている。

## 6. 労務管理

昨年から、同一労働同一賃金の一環として、期間の定めのある契約職員及び職員と同じ時間勤務するパートタイム職員に対しても扶養手当を支給している。

職員の健康管理として、例年通り年2回の定期健康診断、腰痛検診は実施し、新型コロナ、インフルエンザの予防接種も施設内接種を一部取り入れ実施した。胃のバリューム検査、子宮・乳がん検査については全額法人負担において例年どおり実施した。職員1名が新型コロナに感染した事案が1件発生したが、迅速かつ徹底した感染防止対策を実施し、職場内において感染が発生することは防止できた。

新型コロナウィルスの感染拡大により、施設として新型コロナウィルスへの対応指針を作成し、当施設の職員がお子様の在宅により出勤できない場合は、届出の提出により、有給休

暇と同様に全額休業手当として支給する対応をしている。また同様に同居するご家族に発熱、倦怠感等の症状が見られたときも、1日間の休業を命じ、感染の確認により陰性が証明されれば出勤を許可する体制を実施している。また、新形コロナウイルス感染症等感染症2類以上に分類される感染症のクラスターが発生し保健所から感染期間として指定された期間出勤した濃厚接触のリスクのある職員に対して「棄権業務手当を支給している。

11月には、職員全員が「メンタルヘルスチェック」を受け、産業医の面談を受けた職員は“0”であった。

7. 利用者の入退所並び入退院の状況  
別紙のとおり

8. 年間行事、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容  
別紙のとおり

9. 職員の採用並びに退職の状況  
別紙のとおり

10. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）  
令和4年度法人活動状況に掲載

（2）地域密着型特別養護老人ホーム緑と風

1. 総括

令和4年度の運営は前年度最後に発生したコロナのクラスターの影響冷めやらぬ中でスタートした。ご入居者はもちろん、施設職員もかなりのショックであったが、献身的な働きによって拡大を抑え込めたことが何よりの経験であった。

令和4年度は特養の退居者は永眠者12名をかぞえ、そのうちの3名は入居して半年以下での退居となっている。いずれの方も心疾患の既往がある方であった。また、後述するが、コロナのクラスターは年度内にさらに1回起きており、今回の永眠者の中で、陽性となつた方の割合が12名中7名であった。陽性が判明した翌日に亡くなられた方もおられ、コロナに罹患されたこととは全く関係がないとは言い切れないケースも出ていることから、改めて新型コロナウイルスは施設高齢者にとってはリスクの高い病原体であると感じる。こうした状況で、面会の制限も影響しているのか、特養に入居申し込みをされるケースが圧倒的に減り、施設入居がすすまず、空き部屋の埋められない期間が続いたことにより、稼働率低下を止めることができない状況に陥ってしまった。

また、短期入所においては、前年度末に下がってしまった稼働率を取り戻せず、ようやく依頼がき始めた6月、2階職員1名のコロナウイルス感染から端を発して、特養入居者1名が感染し2週間～3週間程度感染対応をおこなう中で、新規利用者の依頼数件をお断りせざるを得ず、また、7月下旬以降人員確保のために職員を短期的に異動させる目的で短期入所の受け入れを3か月中断したこともあり、再開後も依頼を獲得できなかつた。担当する職員の働き方にも改善すべきところがあり、それをできなかつた管理者として力量不足を反省すべき1年になってしまったといえる。

職員採用はまったくすすまず、募集に対する反応もほぼなかつたため、外国人特定技能労働者の紹介業者数社と交渉を進めるも、紹介料等費用面でとても負担できる金額ではない事から、見送らざるを得なかつた。

令和4年度は前年同様、新型コロナウイルス感染の第6波、第7波により、職員の行動、入居者様の生活ともに大きな影響をうけた。事業所としても、6月に2階ユニットでは職員1名、入居者1名、8月には看護師1名が家族内で感染、その後1階ユニット職員2名と入居者6名が感染し2回目のクラスター発生となつた。クラスター発生の中で、陽性となつた入居者1名がご逝去され、コロナウイルスの恐ろしさを再認識したがそのクラスター以降は、数名の職員が家族内感染で療養したものの、入居者様に感染が広がることはな

く、年度内は推移した。ところが、年が明けて1月末、数名の入居者から下痢、嘔吐症状が続き、保健所の検査の結果入居者、職員からノロウィルスが検出。2週間余りの間、感染隔離対策を余儀なくされた。ノロウィルスの感染は施設開設以来初めてのことであり、その感染スピードに驚かされた。入院したり亡くなる方が出なかつたのは幸いであるが、コロナウィルス一辺倒に傾いていた感染対策の重要性を職員一同再認識した。一方で、施設内事故は、4件（うちショートステイご利用の方3件）であった。1件は看取りの方であったが、食事中に窒息が疑われる症状にて救急搬送を行つたケースであり、緊急時の対応について見直しを行つた。ショートステイの利用中に転倒・骨折されたケースは、ご自分で歩ける方であり、ご家族様に誠意をもつて対応し、また、各費用についても保険会社と協議し対応を実施した。今年度内は年間を通して介護事故の発生件数は少なく推移した。

令和4年度の稼働率は、ショートステイの閉鎖、感染症による隔離期間の問題と、不利な要素はあつたにせよ、過去最低の数字であり、また、特養の入居申し込み件数も過去最低の数字であった。施設自体の知名度不足や、ショートステイ利用の要望に対する機敏な対応が、担当者に不足していたこと等、職員全体の意識が稼働率向上に完全には向いていなかつたことが原因であると考え、まず管理者自身が行動を変え、1月から新規の特養入居申し込み者の獲得に特化して行動を始めているところである。ショートステイの対応に自ら取り組むことで受け入れをスムーズにし、依頼元のケアマネジャーの信頼回復に努めること、救護施設、養護老人ホーム、障害者施設等これまで入居待機者を想定していなかつた分野にも問い合わせや連携をとり、特養入居申し込みの獲得を継続し続ける道を開拓すること等、令和5年度内のV字回復達成を目指して取り組み、稼働率向上へ注力してまいります。

## 2. 年間入所(利用)実態

別紙のとおり

### 3. 職種別職員数 (令和5年4月1日現在)

		職員数			
職務基準	区分	延べ人数	常勤換算人数	異動採用者数	異動退職者数
管理者（副施設長）	常勤	1(1)	1(1)	-	-
生活相談員	常勤	1(1)	1(1)	-	-
介護支援専門員	常勤	1(1)	1(1)	-	-
看護職員	常勤	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)
	非常勤	-			
介護職員	常勤	14(14)	16.1(17.2)	0(2)	0(5)
	非常勤	2(1.1)		0(1)	0(3)
	派遣職員	1(1)			
美化職員（洗濯・清掃）	非常勤	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)
宿直専門職員	非常勤	1(1)	-	1(0)	1(0)
合計	常勤	16(17)	20.1(24.2)	7(4)	9(2)
	非常勤	8(12)			
	派遣職員	1(1)		0(1)	0(3)

## 4. 介護サービス

- 1) 年間の各行事は昨年度同様、外部の方の参加を取りやめる形に修正して部分的に実施した（職員のみでの紅葉祭、お食事提供のみの敬老会等）。ただし、体調管理に必要な健康診断や予防接種、また消防訓練は感染対策に留意しながら実施した。
- 2) 職員については、年度内に新規の採用はできなかつた。また、外国人採用に向けて業者等の交渉は進んだが、費用面で断念せざるを得なかつた。
- 3) 介護職員によるユニット会議を定期的に実施し、サービスについての改善点検討、情報共有を図ることができた。重大事故については転倒骨折という重大事故が起こつているが、経過の検証および職員の聞き取り等速やかに実施し、医師の助言に基づく

再発防止策を講じることができた。事故防止委員会等で情報共有と対策立案実施し、また、行政へ報告実施している。

4-1 感染対応委員会を毎月開催し情報共有を図ることや、汚物処理の研修は実施できた。前述のとおり今シーズンは新型コロナのクラスター及び、ノロウィルスの施設内感染拡大と、委員会の働きが重要になるケースが発生し、都度話し合いを実施して多職種で連携して対応した。県の感染症対策チームの指導に則った対応を継続している。また、事故防止委員会においては、年度内に委員会が中心となって窒息事故防止の研修会を企画、実施できた。

4-2 ユニット内での感染症のクラスター発生を予防するため山梨県社会福祉施設等エアロゾル感染対策強化事業費補助金の交付を受け、3台「ダイキンエアクリーナー加湿器」を設置した。

5) 楽器演奏や茶道教室等のボランティアの方々には新型コロナウィルス拡大防止の観点から来苑を控えていただいた。茶道教室のみ、途中より施設職員にて実施をしている。

6) 身体拘束については基本方針に則り、原則として行わない旨を職員も理解しながらサービス実施しており、年度内は身体拘束0である。新規入職者に対する高齢者権利擁護のDVD視聴および研修は継続して実施できている。ユニット職員全体への教育等も含めた研修会を実施した。

7) 運営推進会議は新型コロナウィルス感染拡大予防の観点から、甲州市からの通知・助言に則り、書面にて会議資料送付・意見収集といった形で開催代行という形式をとった。令和5年度より対面での会議を再開予定である。

8) 本年度は、新型コロナウィルス拡大防止の為、各学校からの学生受け入れは中止した。

9) 本年度は、新型コロナウィルス拡大防止の為、地域の救護施設からの人員派遣等は中止した。

## 5. 給食サービス

緑風苑と同様

## 6. 労務管理

緑風苑と同様

## 7. 利用者の入退所並び入退院の状況

別紙のとおり

## 8. 年間行事、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

## 9. 職員の採用並びに退職の状況

別紙のとおり

## 10. その他の（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

令和4年度法人活動状況に掲載

## 令和4年度年次緑風苑・緑と風年間行事等実施報告書 (ユニット単位での実施)

項目 月	行 内 容	事 内 容	職員研修・職員会議等	内 容	災 害 内 容	健 康 内 容	健 康 管 理 ・ 衛 生 管 理	そ の 他
4月	ひな祭りちらし寿司 華アソンを作ろう	駐車場で青空茶会 あんみつ作り				利用者等新型コロナ第1回ワクチ ン接種		
5月	抹茶スイーツで新緑御膳、選べる弁物 父の日（プレゼント）	たこ焼き風ホットケーキ作り				利用者等新型コロナ第2回ワクチ ン接種		
6月	鮭のたき新緑御膳、選べる弁物 父の日（プレゼント）	たこ焼き風ホットケーキ作り				職員健康診断（夜勤者） 職員腰痛健康診断	第1回略理事会（決算）、定時評議員会	
7月	スイカ割 焼きそばバーベキュー	七夕飾り付け（短冊に願い）				高齢者虐待防止委員会動画研修 身体拘束適正化委員会研修	第4回新型コロナ予防接種	
8月	<b>新型コロナ感染症クラスター発生 全てのイベント中止</b>					歯科医によるスクリーニングヒ 口腔ケア指導 事故防止検討委員会研修	脱水防止月間	第1回雇用保険料納付 第2回決議省略理事会（補正予算）
9月	お月見（団子作り） 映画鑑賞会	秋の味覚スイートボート作り 焼き芋作り				感染症対応委員会研修 体拘束適正化委員会研修		ボーナス人事考課
10月	さつまいもスイーツ作り	ハロウインパーティー 駐車場でのバーベキュー				夜間マニュアル検証 避難訓練机上演習、消防設備等業 者点検	第2回雇用保険料納付	
11月	手作りクリスマステザート作り	クリスマスパーティー				事故防止検討委員会研修 高齢者虐待防止委員会研修	第5回新型コロナ予防接種 全館消掃（複数日）	第3回決議省略理事会
12月	注連飾り、年越しそば 餅つき大会					年末年始災害防止特別警戒 職員健康診断、入居者健康診断	ノロウイルス予防月間 循環器疾病要注意月間	
1月	豆まき（節分）、選べる弁物 バレンタインデザート					感染症対応委員会研修		第3回雇用保険料納付
2月	ひな祭り（ひなあられ） 桃の節句ショートケーキパーティー	手作りラーメン 桃の節句ショートケーキパーティー				事故防止検討委員会研修 高齢者虐待防止委員会研修 身体拘束適正化委員会研修	通報連絡消防避難訓練 避難訓練机上演習	昇給人事考課 第4回理事会（予算）
3月	各ユニット誕生会（月1回） カラオケ会 指体操（週4）	お茶会（月1回）				（毎月1回）全体会議、リリーダー会 （ユニット会議、感染症対応委員会、 事故防止検討委員会、身体拘束等適正 化委員会、高齢者虐待防止委員会 会議、カラオケ会 指体操（週4）	防災訓練（年1回）夜間避難 避難訓練（日中） 防災設備自主点検（月1回） 初任者研修随時 入院者訪問（随時）	入所検討委員会開催（毎月）、事故防止委員会（月1回）、 感染症対応委員会（月1回）、身体拘束適正化検討委員 会、虐待防止委員会（月1回）

	利用者名	開始日	終了日	入院日数	病名	病院名
1	利用者A 様	R4.11.23	R4.11.28	5 日	左眼縁内障手術	山梨医科大学付属病院
		R4.12.22	R4.12.26	4 日	右眼縁内障手術	山梨医科大学付属病院
2	利用者B 様	R4.6.18	R4.6.27	9 日	脱水型低ナトリウム血症	塩山市民病院
3	利用者C 様	R4.12.26	R5.1.7	12 日	心不全・胸水貯留	塩山市民病院
4	利用者D 様	R4.4.11	R4.4.21	10 日	胆囊炎	塩山市民病院
5	利用者E 様	R4.7.2	R4.8.12	41 日	心肥大、心不全、脱水	塩山市民病院
6	利用者F 様	R5.1.28	R5.2.28	31 日	胆囊炎の疑い	塩山市民病院
7	利用者G 様	R4.9.9	R4.10.17	38 日	コロナ感染後遺症 心不全	塩山市民病院
8	利用者H 様	R4.5.30	R4.8.5	67 日	麻痺性イレウス	塩山市民病院
9	利用者I 様	R4.9.5	R4.9.14	9 日	経口摂取困難	塩山市民病院
		合計入院日数	226 日			
		平均入院日数	22.6 日			

	利用者名	開始日	終了日	入院日数	病名	病院名
1	利用者A 様	R4.10.1	R4.11.8	38 日	心肥大.左肺炎重症	塩山市民病院
2	利用者B 様	R4.6.21	R4.6.30	9 日	コロナ陽性	富士温泉病院
3	利用者C 様	R5.2.22	R5.3.8	14 日	鈴木Dr看取り入院.うっ血性心不全	塩山市民病院
4	利用者D 様	R4.10.16	R4.10.20	4 日	てんかん重責発作	塩山市民病院
5	利用者E 様	R4.8.16	R4.8.24	8 日	新型コロナ陽性	富士温泉病院
6	利用者F 様	R4.12.17	R4.12.24	7 日	心不全悪化.胸水	塩山市民病院
7	利用者G 様	R4.4.1	R4.6.29	89 日	右大腿骨頸部骨折/人工骨頭置換術	塩山市民病院
8	利用者H 様	R4.8.14	R4.8.23	9 日	コロナウイルス感染症	山梨厚生病院
		合計入院日数	178 日			
		平均入院日数	22.3 日			

## 令和4年度施設運営状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	今期目標
緑風苑	特養稼働率A	95.8%	98.6%	98.3%	96.9%	97.5%	98.0%	96.4%	94.5%	83.7%	85.7%	84.0%	86.6%	93.0%
	特養稼働率B	95.3%	98.5%	96.2%	93.7%	96.7%	96.3%	95.5%	94.3%	83.3%	85.3%	82.7%	86.6%	92.0%
	退居者数	0	1	3	1	2	3	1	0	0	3	2	1	97.0%
	入居者数	5	1	0	4	2	1	2	1	4	2	1	20	
	ショートステイ	74.6%	64.9%	68.9%	60.6%	58.6%	45.3%	46.0%	46.0%	119.0%	107.9%	105.6%	106.8%	75.4%
	実利用人数	24	25	23	28	24	15	19	22	25	20	17	23	70.0%
	特養稼働率A	85.1%	90.3%	96.6%	93.5%	91.5%	88.3%	88.0%	92.4%	95.8%	91.3%	89.9%	89.0%	91.0%
	特養稼働率B	81.6%	86.9%	92.4%	93.5%	89.9%	88.3%	84.3%	91.5%	95.0%	91.3%	89.2%	88.2%	98.0%
	退居者数	1	0	0	1	1	2	1	1	1	2	0	2	
	入居者数	2	2	1	0	0	1	2	3	0	1	1	0	13
緑と風	ショートステイ	19.7%	18.1%	16.0%	15.2%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	9.4%	18.4%	16.1%	14.8%	11.2%
	実利用人数	5	7	4	4	0	0	0	1	3	4	4	4	65.0%
	要支援1													
	要介護度1													
	要介護度2													
緑風苑	要介護度3													
	要介護度4													
	要介護度5													
	男性													
緑と風	特養													
	比率													

○ 新規採用者及び転入者（緑風苑）

採用・転入の別	年月日	氏名	性別	年齢	採用職種	最終学歴	資格
採用	R4.4.4	伊藤 美歩	女	35	介護職	神奈川県立藤沢高等学校	
採用	R4.4.4	吉川 紀子	女	39	介護職	茨城県立結城第二高等学校	
採用	R4.5.2	東條 佳代子	女	53	介護職	山梨県立巨摩高等学校	
採用	R4.5.2	櫻本 博美	女	41	介護職	山梨県立塩山高等学校	
採用	R4.6.1	松木 伸司	男	51	事務職	東海大学政治経済学部経済学科	
採用	R4.10.3	千葉 宣子	女	45	看護職	東海大甲府高等学校	
採用	R4.11.1	中川 大輔	男	28	介護職	優和福祉専門学校	介護福祉士
採用	R4.12.1	猪股 美穂	女	48	介護職	東海大学短期大学部商経学科	介護福祉士
採用	R5.1.23	池上 謙	男	24	介護職	山梨県立塩山高等学校	
採用	R5.3.1	吉屋 智章	男	31	介護職	駿台甲府高等学校	介護福祉士
採用	R5.3.1	飯島 恵里	女	33	介護職	山梨県立山梨高等学校	介護福祉士
採用	R5.3.1	小田切 美佐保	女	53	介護職	共立医療秘書専門学校	介護福祉士
採用	R5.3.1	望月 楓華	女	24	介護職	桜花学園大学学芸学部英語学科	実務者研修修了
転入	R4.8.1	鮎沢 万里	男	36	介護職	山梨県立塩山高等学校	介護福祉士
転入	R4.8.21	鈴木 隆司	男	47	介護職	帝京医療福祉専門学校	介護福祉士
派遣採用	R4.9.5	雨宮 裕斗	男		介護職		

○ 退職者及び転出者（緑風苑）

退職・転出の別	年月日	氏名	性別	年齢	採用職種	勤務年数	退職(転出)の理由
退職	R4.5.20	佐藤 勝彦	男	64	介護職	10年1ヶ月	自己都合
退職	R4.5.20	橘田 武	男	65	事務職	3年4ヶ月	自己都合
退職	R4.5.20	深澤 飛良李	女	23	介護職	1年3ヶ月	自己都合
退職	R4.6.20	東條 佳代子	女	53	介護職	1ヶ月18日	自己都合
退職	R4.6.30	大田 朋美	女	23	介護職	9ヶ月10日	自己都合
退職	R4.7.11	吉川 紀子	女	39	介護職	3ヶ月5日	自己都合
退職	R4.7.28	尾崎 旬	男	23	介護職	1年5ヶ月	自己都合
退職	R4.10.17	千葉 宣子	女	45	看護職	14日	自己都合
退職	R4.12.20	飯嶋 雄介	男	35	介護職	6年3ヶ月	自己都合
退職	R5.2.7	池上 謙	男	24	介護職	15日	自己都合
転出	R4.8.20	鮎沢 万里	男	36	介護職	1年8ヶ月	異動
転出	R4.10.20	鈴木 隆司	男	47	介護職	10年10ヶ月	異動
派遣退職	R5.2.11	雨宮 裕斗	男		介護職	5ヶ月6日	自己都合

○ 新規採用者及び転入者 (緑と風)

採用・転入の別	年月日	氏名	性別	年齢	採用職種	最終学歴	資格
採用	R4.6.21	池田 光優	男	66	宿直専門員	甲府市立甲府商業高等学校	
転入	R4.8.21	鮎沢 万里	男	36	介護職	山梨県立塩山高等学校	介護福祉士
転入	R4.10.21	鈴木 隆司	男	47	介護職	帝京医療福祉専門学校	介護福祉士
採用							
派遣採用							

○ 退職者及び転出者 (緑と風)

退職・転出の別	年月日	氏名	性別	年齢	採用職種	勤務年数	退職(転出)の理由
退職	R4.6.20	古屋 浩	男	65	宿直専門員	3年9ヶ月	自己都合
転出	R4.7.31	鮎沢 万里	男	36	介護職	1年7ヶ月	異動
転出	R4.8.20	鈴木 隆司	男	47	介護職	10年8ヶ月	異動
退職							
派遣							

※R5.3.31現在まで

R4.4.1～R5.3.31